



A Swinging span Bridge In The Nagoya Harbour.

Actual Work Was Undertaken in October 1926 and Completed On June 20th. 1927.
Total Cost Required Being ¥100,000.00
Swinging Diameter Being 50 Shaku.
3 pcs. Of 40 Shaku Span...Fixed Parts.

Square Hollow Design.....Foundation.
Width Of Bridge Single Truck.
Power15 H.P. For Moving Swinging Gate and 3 H.P. For Connecting Truck.

名古屋港 の 新跳開橋

場所 名古屋港第一第二
號地間鐵道橋跳上
橋

工期 自大正十五年十月
至昭和二年六月廿日

工費 拾萬圓

可動部徑間 五十尺

固定部 四十尺三聯

基礎 井筒式

橋幅 單線軌道

動力 十五馬力(橋臺運轉)三馬力(軌條連
結用)

起業者 愛知縣名古屋港務所

設計 山本工務所

此の様式は古き歴史を有する和蘭式跳上橋より轉化して近代化せしものである。即ち橋體と對重とは平行四邊形の構材に依つて平衡を保たしむ、又對重は總て上部にあるが爲め水面とのクリアランス小なる所に適し工費も比較的低廉である。シカゴ市役所の式に比して外觀必ずしも美なりと言ふを得ないが、工業地帯又は港灣附近地に於て其グロテスクの形體は寧ろ近代人審美的感觸に共鳴するものが多いと思ふ。

(鈴木雅次博士談)